

地域の人々が応援したくなる人と薬局
～あなたがいるから、この薬局に来た～

2024年 4月号

フォーラルだより



薬局で活躍するロボット特集

みなさんは薬局で活躍しているロボット『調剤ロボット』があることをご存じでしょうか。調剤ロボットとは、処方箋のデータをパソコンに入力するだけで、薬の選択、秤量、分包などを自動で行ってくれる機械のことです。4月号はそんなロボットたちを2つの店舗から紹介します。 **ロボピックⅡ**

つばめ薬局

つばめ薬局には、自動で医薬品を払い出す機械が導入されています。

この機械の中には、約130種類の医薬品がセットされており、処方箋に載っている医薬品の種類と数を正確に取り揃えてくれます。

<ロボピックⅡのここが助かる!!>

- ・数や種類を正確に取り揃えてくれる。
- ・機械に任せることで、時間にゆとりができ薬や健康相談、管理栄養士による栄養相談など患者さんとより充実した対面での時間を持つことができる。

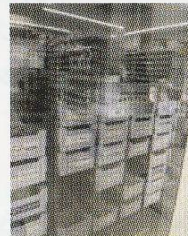
<ロボピックⅡのここが大変!!>

- ・300錠などたくさんの薬が出る時、全部バラバラに出てくるので、まとめ直しが必要。
- ・何と言っても機械が大きいっ！

導入してから、約5年…。

今では立派なメンバーの一員です！

端数は
テトリスみたいな
形で出てきます



フォーラルのイチ押しを紹介！



フォーラルは、昨年秋より、江東区プロバスケットボールチーム『東京ユナイテッドバスケットボールチーム』のサポーターングカンパニーとなりました。フォーラルの原点の場所である江東区を盛り上げていきたいです！



TUBCと一緒に応援しよう 🍌

フォーラル本社 都営新宿線西大島駅徒歩5分

のぞみ薬局

のぞみ薬局には小児の患者さんが多く来局されるので、

粉薬とシロップを自動調剤する機械が導入されています。ロボット調剤のメリットは、ヒューマンエラーのリスクが低くなり、より正確に、そして機械内のクリーンな環境で調剤することができます。

<DimeRo, miniAQUA IIのここが助かる!!>

- ・散薬ロボットDimeRoは、約30種類の粉薬のセットが可能で、一度に3種類までの粉を同時に秤量することができる。
- ・水剤調剤ロボットminiAQUA IIは、10種類のシロップをセットすることができる。

<DimeRo, miniAQUA IIのここが大変!!>

- ・DimeRoは、速さが一定のため急ぐことができない。はじめの秤量が終わらないと次へ進めず、種類が多いと時間がかかる。
- ・全種類の薬をセットすることはできず、他の薬は薬剤師が量る。
- ・機械トラブルが起こると、修理には業者さんの技術が必要になる。

なんと、のぞみ薬局は
処方箋の約9割がロボット調剤です！

薬局では、色々な機械が活躍しています。
どんな機械が活躍しているか、見つけてみよう！

DimeRo



miniAQUA II



《つばめ薬局・のぞみ薬局》

管理栄養士コラム

今月のテーマ アルコール

新年度が始まりお酒を飲むことが増える時期ですね。
今回はお酒の適量や飲む際のポイントをご紹介します。
上手なアルコールとの付き合い方を知って、お酒を楽しみましょう！

飲酒の適量

体に害を及ぼさない適度な量は、純アルコールで換算すると20g程度になります。これはお酒にすると2ドリンク程度の量になります。



1日の目安量（純アルコール20g程度）

※純アルコール量=お酒の量(ml)×[アルコール度数(%)÷100]×0.8

適量には個人差があります。

お酒の弱い方、女性や高齢の方は基準の1/2～2/3程度が良いでしょう。

食事の選び方

食事をとりながら飲酒することで、悪酔いを予防する事ができます。

①**良質なたんぱく質を摂る**（アルコール分解を助け肝臓の負担を軽くする）

例) お刺身、焼き鳥、冷やっこ

②**ビタミンB₁を摂る**（アルコール代謝を助ける）

例) 枝豆、冷やっこ、豚の生姜焼き

③**野菜を摂る**（野菜に含まれるビタミン類全般は肝臓の働きを助ける）

例) もろみきゅうり、サラダ

☆飲みすぎてしまったら…オススメの飲み物・食べ物☆

飲み物：経口補水液、ミネラルウォーター、野菜ジュース

食べ物：果物、しじみの味噌汁、大豆製品

上記は飲みすぎによる脱水の改善、肝機能の働きを高める、
ビタミン類でアルコール代謝を高める等の働きがあるのでオススメです。



★管理栄養士による無料（10分）食事相談実施中★

食事のことで気になることありましたら、お薬の待ち時間などに
予約なしでいつでも相談できます。

処方箋がなくても、気軽にお立ち寄りください♪

薬局クローズアップ



「薬価改定」って知ってる？

薬価改定は、医療用医薬品の公定価格である薬価を見直す行為で、今年の4月に改定されます。この改定は2年に1度の頻度で実施されていましたが、2021年度からは中間年度改定も開始され、実質毎年行われることになりました。そもそも薬価とは、医療用医薬品（医師が処方する医薬品）の公定価格のことで、医療保険での薬剤費用請求に使用されます。この価格は、国（厚生労働大臣）によって決定され、公的な医療保険が適用される全ての医薬品に適用されます。病院や診療所で使用される薬の価格は、製薬会社が自由に決めることはできません。市場実勢価格は「薬価調査」によって把握され、その結果に基づいて薬価が調整されます。目的は主に医療費削減のためで、この改定によりほとんどの薬価が下がることが一般的ですが一部例外もあります。今回の改定で、お薬代が変わる場合もあります。ご不明な点等ありましたら、薬局にご相談ください。 《あやめ薬局薬剤師》

Instagram



SNS部隊食べ物大好きチーム

イベント予定

- ・4/1、8 とまと薬局（江東区）
薬局店舗「Indody測定会」
- ・4/13、27 とまと薬局（江東区）
薬局店舗「KOTO活き粋体操」
- ・4/13 なごみ薬局（江戸川区）
なごみの家 長島桑川
「姿勢ストレッチ/アロマ」
- ・4/18 あすか薬局（江戸川区）
薬局店舗「薬と食事の無料相談会」
- ・4/25 みのり薬局（中央区）
中央区敬老館「今からできる頻尿予防」



地域連携薬局認定:15店舗 健康サポート薬局認定:11店舗

発行:2024年4月1日 発行者:フォーラルだより編集チーム 〒136-0072 東京都江東区大島1-9-8